8月4日(ハシ)橋の日

日本記念日協会認定

2015年（平成27年）宮崎「橋の日」実行委員会　活動報告

2015年、「橋の日」が全国47都道府県全てで実施されました。

第29回　宮崎「橋の日」イベント写真報告

8月4日（火）宮崎市の橘橋にて、戸敷市長、国土交通省宮崎河川国道事務所　竹林所長に来場いただき、ご挨拶いただきました。イベントでは、橋への御礼献花、橋磨き、点字ブロックの清掃（協力：宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装協同組合）を実施。

橋に感謝し清掃

宮崎の高校生ら

8月4日を語呂合わせで「橋の日」として日頃使っている橋に感謝し、清掃を行う「宮崎橋の日イベント」が4日、宮崎市の橘橋で行われ、近くの宮崎学園高の生徒らボランティア約200人が参加した。

宮崎「橋の日」実行委員会（日高孝会長）が主催し、今年で29回目。日高会長が「橋の役割を再認識してほしい」とあいさつし、参加者は、濡れタオルで欄干を拭き上げた。

「橋の日」を発案したのは湯浅利彦さん(73)（宮崎市）。1986年、出身地の延岡市にある安賀多橋周辺に花を飾ったのを手始めに、全国の自治体担当者らに開催を提案。今年は初めて全国47都道府県で記念行事が実施される。

湯浅さんは「橋を好きになることで川や町、たくさんの人を知ることができる」と橋の魅力を語った。

橋を拭き上げる高校生ら

2015.8.5　読売新聞　掲載

■地域のお宝再発見ツアー（長崎・熊本編）　9/26～9/27

長崎県の「女神大橋」では、橋を活用した観光振興を地域づくり団体と県が共働で実施。また熊本県では石橋を活用した町づくりを展開していました。今後の活動へのヒントをたくさんいただきました。

宮崎県教育委員会へ「とんところ地震紙芝居とDVD」を250組を寄贈しました。

「福島邦成と橋橋」「とんところ地震」紙芝居上演

老健施設にて、紙芝居実施

フローランテ宮崎、ガーデンハウスにて紙芝居実施

（公社）日本道路協会より「道路功労者」表彰を受けました。

「橋の日」本県から全国へ

47都道府県イベント実現

宮崎市の実行委に功労賞

記念日協会

本県発祥の記念日「橋の日」（8月4日）にちなんだイベントが、今年で全47都道府県に広がることになった。宮崎市の宮崎「橋の日」実行委員会（日高孝会長、40人）は、日本記念日協会（長野県佐久市）の「記念日文化功労賞」を受賞した。提唱した同委員会顧問の湯浅利彦さん（73＝宮崎市小松台東1丁目）は「全国各地で励まされ、30年かけて成し遂げることができた」と喜んでいる。（2面に湯浅利彦さんのひと）

延岡市出身の湯浅さんは、小学3年生の頃に遊んでいた同市の大瀬川から眺める安賀多橋で、いつかイベントをしたいと考えていた。思いを実現させようと1985年、橋に感謝する日として8月4日の数字の語呂合わせで提唱。翌年、同市での橋の日イベントの実現につなげた。

活動を全国に広めようと、湯浅さんは訪問したり資料を送ったりして、共感の輪を広げた。橋のライトアップや太鼓演奏など、さまざまな催しが行われるように。94年、日本記念日協会に認定された。

今年7月3日、最後の都道府県だった滋賀県から、橋の日に「瀬田の唐橋」の安全点検を行うと連絡を受けた。日本記念日協会に報告をしたところ、受賞が決まった。

橋梁メーカーに勤めながら活動を続け、提唱から30年での全国制覇。湯浅さんは「これからは各都道府県内の複数箇所で催しが開かれるなど、充実を図っていきたい」と抱負を語る。

県内では今月4日に宮崎、延岡、日南で「橋の日」の催しが行われる。宮崎市では橋橋の欄干の清掃と合わせ、受賞の報告もある。

同賞の受賞は本県初で、全国では7件目。これまでに8月8日の「プチプチの日」、10月10日の「JUJUの日」などが選ばれている。

記念日文化功労賞の受賞を喜ぶ宮崎「橋の日」実行委員会の日高さん（左）、湯浅さん（中央）ら

2015.8.3　宮崎日日新聞　掲載

宮崎「橋の日」実行委員会
宮崎市佐土原町下那珂2574-6
事務局：鶴羽（つるは）
連絡先：090-9566-4159